

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年4月19日

提出区分	実績	整理番号	2	課題区分	C
横断的な課題	With/Afterコロナ時代においても選ばれる持続可能な山岳観光地域づくりの推進				
地域重点政策	1 北アルプスの恵みと人々の知恵を活かした産業の振興				北アルプス地域振興局
実施機関	北アルプス農業農村支援センター			担当課	所属 農業農村振興課
事業名	地消地産推進事業			電話	0261-23-6511
				E-mail	kita-nosei@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	北アルプスで養殖された淡水魚の地元特産品としての価値や魅力を生産者(養殖事業者)及び実需者(飲食店事業者(寿司職人))による食育活動(研修や調理体験)を通じ消費者へ発信することで地消地産を推進する。			
	現状と課題	・地域の自然環境を活かした淡水魚養殖の魅力について、地域の認知度が低く、消費も停滞している。 ・令和2年度は小中学校に給食食材として信州サーモンを提供し消費拡大を図るとともに、白馬村中学校と連携し、地元生産者による食育授業を行うことで地域の食材としての理解を深めた。 ・令和3年度は白馬村内飲食店等実需者による信州サーモン養殖場の見学会と意見交換会を行い白馬産信州サーモンの魅力について意識共有を図った。 ・地元産養殖魚の地消地産を推進するためには、生産者、実需者、消費者の交流の設け地域住民に対する認知度の向上と飲食店における一層の利用拡大が必要である。			
	内容 (変更後の内容)	【寿司づくり体験会の開催】 1 日時 令和5年2月4日(土) 2 会場 大町市平公民館調理室等 3 内容 ①生産者による養殖魚の特徴と養殖技術について(養殖現場のオンライン見学) ②(調理体験)寿司職人指導による寿司づくり体験 4 募集対象 管内小学生と保護者			
	事業期間	令和5年1月 ~ 令和5年3月			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	地元淡水魚を活用した食育活動	小学生を対象とした淡水魚の養殖池の見学、信州サーモン・信州大王イワナを使った寿司づくり体験	64,700		
	合 計		64,700		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	体験会参加者数		12名	14名	● 達成
					○ 一部達成
					○ 未達成
事業実績・成果	令和4年度地消地産推進事業「地元淡水魚を活用した食育活動」 「信州サーモンと信州大王イワナでお寿司をつくろう」 開催日時: 令和5年2月4日(土)11時から14時まで 開催場所: 大町市平公民館・女性みらい館 調理室 開催内容: 第一部 信州サーモン・信州大王イワナの生産者とWebでの交流 第二部 信州サーモン・信州大王イワナを使ったすしづくり体験会(調理実演・実習) 参加者 : 北アルプス管内の小学生(4年生以上)とその保護者を対象として募集。6組14名が参加 成果 : 北アルプス管内の恵まれた自然環境を活かした淡水魚の養殖について次代の消費者となり得る者に対し生産現場の理解促進及び消費PRが実施できた。				
今後の方向性	地域の生産者及び取り扱い店の協力をいただきながら、引き続き地消地産活動をPRし、生産者始め地域店舗の活性化に努めたい。				